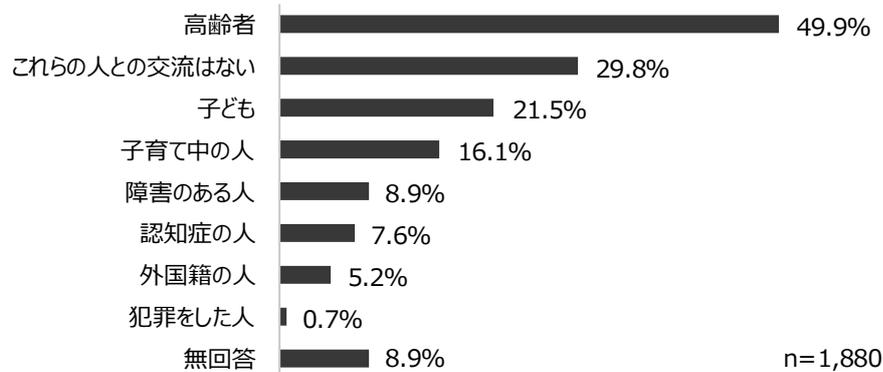


問4 地域での交流について

(23) あなたは、日常生活の中で次のような人と交流する機会がありますか（自分の家族を除きます）（複数回答）

「高齢者」という回答が最も多く49.9%、次いで、「これらの人との交流はない（29.8%）」、「子ども（21.5%）」、「子育て中の人（16.1%）」の順で回答が多くなっています。



≪性別・年代別≫

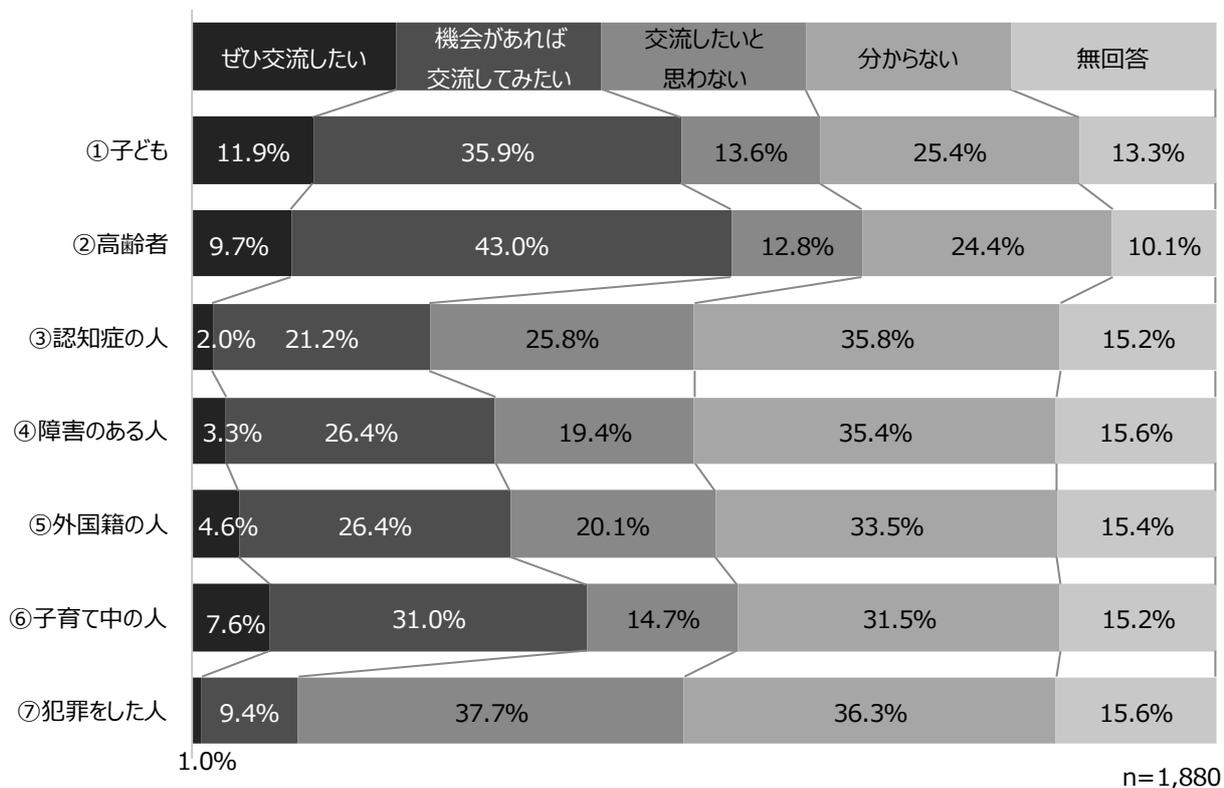
地域の人々との交流について、回答を性別で見ると、男性と女性いずれも「高齢者」と交流する機会があると回答した人の割合が最も高くなっています。次に、「これらの人との交流はない」と回答した人の割合が高く、また、女性では「子ども」と交流する機会があると回答した人の割合も同程度に高くなっています。

回答を年代別にみると、30歳代では、「子ども」、「高齢者」、「子育て中の人」と交流する機会があると回答した人の割合が同程度に高くなっています。70歳代、80歳以上では、「高齢者」と交流する機会があると回答した人の割合が全体の半数以上を占めていますが、それ以外の人々との交流する機会は少なくなっています。また、「これらの人との交流はない」と回答した人の割合は、特に60歳代で高くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	子ども	高齢者	認知症の人	障害のある人	外国籍の人	子育て中の人	犯罪をした人	これらの人との交流はない	無回答
全体		1,880	21.5	49.9	7.6	8.9	5.2	16.1	0.7	29.8	8.9
性別	男性	813	18.1	47.4	4.9	7.3	5.4	11.4	0.9	35.9	8.0
	女性	1,048	24.4	52.1	9.7	10.4	5.2	19.8	0.6	25.4	9.2
年代別	10歳代	20	20.0	55.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	35.0	10.0
	20歳代	93	31.2	47.3	9.7	11.8	11.8	24.7	0.0	34.4	2.2
	30歳代	156	47.4	47.4	10.9	12.2	11.5	45.5	0.6	26.9	1.3
	40歳代	209	37.3	42.6	11.0	14.4	9.1	31.1	2.4	33.0	1.9
	50歳代	249	24.5	51.8	9.2	13.3	6.8	22.5	1.6	30.1	5.2
	60歳代	390	17.7	45.1	7.7	7.9	5.6	13.1	0.3	37.9	7.2
	70歳代	456	13.6	56.6	3.5	6.1	1.5	5.5	0.4	25.7	12.3
	80歳以上	296	9.1	52.4	7.8	5.1	0.7	3.4	0.0	23.3	18.9

(24) あなたは今後、次の①から⑦の人と交流したいと思いますか(○はそれぞれ1つ)

①子ども、②高齢者については、「ぜひ交流したい」、「機会があれば交流してみたい」という回答が約半数を占めています。一方、③認知症の人、④障害のある人、⑤外国籍の人、⑥子育て中の人に関しては「分からない」という回答が3割を超え、⑦犯罪をした人は、「交流したいと思わない」が最も多くなっています。



《年代別》

①子どもについては、全体として「機会があれば交流してみたい」という回答が最も多く、中でも特に20歳代の占める割合が高くなっています。「ぜひ交流したい」という回答は最も少なかったものの、このうち30歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。

①子ども

単位 (%)	全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流してみたい	交流したいと思わない	分からない	無回答	
全体	1,880	11.9	35.9	13.6	25.4	13.3	
年代別	10歳代	20	20.0	50.0	5.0	20.0	5.0
	20歳代	93	18.3	51.6	7.5	19.4	3.2
	30歳代	156	27.6	35.9	16.7	16.0	3.8
	40歳代	209	17.2	46.9	14.8	20.6	0.5
	50歳代	249	11.2	37.3	15.3	30.5	5.6
	60歳代	390	9.5	38.5	13.8	28.2	10.0
	70歳代	456	8.8	33.3	13.2	28.3	16.4
	80歳以上	296	6.1	22.3	12.5	23.3	35.8

②高齢者については、すべての年代で「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。「ぜひ交流したい」という回答は最も少なかったものの、このうち80歳以上は他の年代と比べて高い割合を占めています。

②高齢者

単位 (%)	全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流してみたい	交流したいと思わない	分からない	無回答	
全体	1,880	9.7	43.0	12.8	24.4	10.1	
年代別	10歳代	20	15.0	45.0	15.0	20.0	5.0
	20歳代	93	9.7	46.2	12.9	28.0	3.2
	30歳代	156	11.5	41.0	21.8	21.8	3.8
	40歳代	209	9.1	44.5	18.2	27.8	0.5
	50歳代	249	4.8	43.8	15.3	29.7	6.4
	60歳代	390	4.6	47.2	12.1	26.9	9.2
	70歳代	456	12.3	42.8	9.6	22.1	13.2
	80歳以上	296	16.2	36.5	7.4	18.6	21.3

③認知症の人については、全体として「分からない」という回答が最も多かったものの、20歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答についても、特に20歳代が高い割合を占めています。

③認知症の人

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答
全体		1,880	2.0	21.2	25.8	35.8	15.2
年代別	10歳代	20	0.0	35.0	30.0	30.0	5.0
	20歳代	93	5.4	38.7	22.6	30.1	3.2
	30歳代	156	3.8	27.6	35.9	28.2	4.5
	40歳代	209	3.8	25.4	31.6	38.3	1.0
	50歳代	249	2.0	23.7	30.1	36.1	8.0
	60歳代	390	1.8	21.5	23.3	41.0	12.3
	70歳代	456	0.7	18.0	23.2	38.2	20.0
	80歳以上	296	1.4	11.8	20.6	29.7	36.5

④障害のある人については、全体として「分からない」という回答が最も多かったものの、10歳代～30歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答については、特に20歳代が高い割合を占めています。

④障害のある人

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答
全体		1,880	3.3	26.4	19.4	35.4	15.6
年代別	10歳代	20	5.0	45.0	15.0	30.0	5.0
	20歳代	93	8.6	37.6	21.5	29.0	3.2
	30歳代	156	4.5	37.2	28.2	25.6	4.5
	40歳代	209	5.3	34.4	23.4	36.4	0.5
	50歳代	249	4.4	28.9	20.5	37.8	8.4
	60歳代	390	2.3	28.2	16.4	40.8	12.3
	70歳代	456	2.6	22.6	18.9	35.7	20.2
	80歳以上	296	1.0	12.5	14.9	33.1	38.5

⑤外国籍の人については、全体として「分からない」という回答が最も多かったものの、20歳代、30歳代、40歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答については、20歳代が高い割合を占めています。

⑤外国籍の人

単位 (%)	全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答	
全体	1,880	4.6	26.4	20.1	33.5	15.4	
年代別	10歳代	20	25.0	40.0	0.0	30.0	5.0
	20歳代	93	16.1	41.9	14.0	24.7	3.2
	30歳代	156	9.6	39.7	28.2	19.2	3.2
	40歳代	209	8.1	41.1	20.6	29.7	0.5
	50歳代	249	3.6	34.5	18.1	34.9	8.8
	60歳代	390	3.8	26.9	20.0	37.2	12.1
	70歳代	456	2.2	18.6	21.3	37.7	20.2
	80歳以上	296	0.3	8.8	18.2	34.1	38.5

⑥子育て中の人については、全体として「分からない」と「機会があれば交流してみたい」という回答が同程度の割合を占めていますが、特に20歳代、30歳代、40歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答については、30歳代が高い割合を占めています。

⑥子育て中の人

単位 (%)	全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答	
全体	1,880	7.6	31.0	14.7	31.5	15.2	
年代別	10歳代	20	10.0	35.0	15.0	35.0	5.0
	20歳代	93	17.2	44.1	14.0	21.5	3.2
	30歳代	156	22.4	41.0	16.0	16.7	3.8
	40歳代	209	13.4	45.9	14.8	25.4	0.5
	50歳代	249	8.0	34.1	14.9	35.3	7.6
	60歳代	390	5.1	35.4	13.6	33.8	12.1
	70歳代	456	3.5	24.1	15.1	37.5	19.7
	80歳以上	296	2.0	13.9	14.5	31.4	38.2

⑦犯罪をした人については、全体として「交流したいと思わない」と「分からない」という回答が同程度の割合を占めています。「ぜひ交流したい」という回答は最も少なかったものの、このうち40歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「機会があれば交流してみたい」という回答については、20歳代が高い割合を占めています。

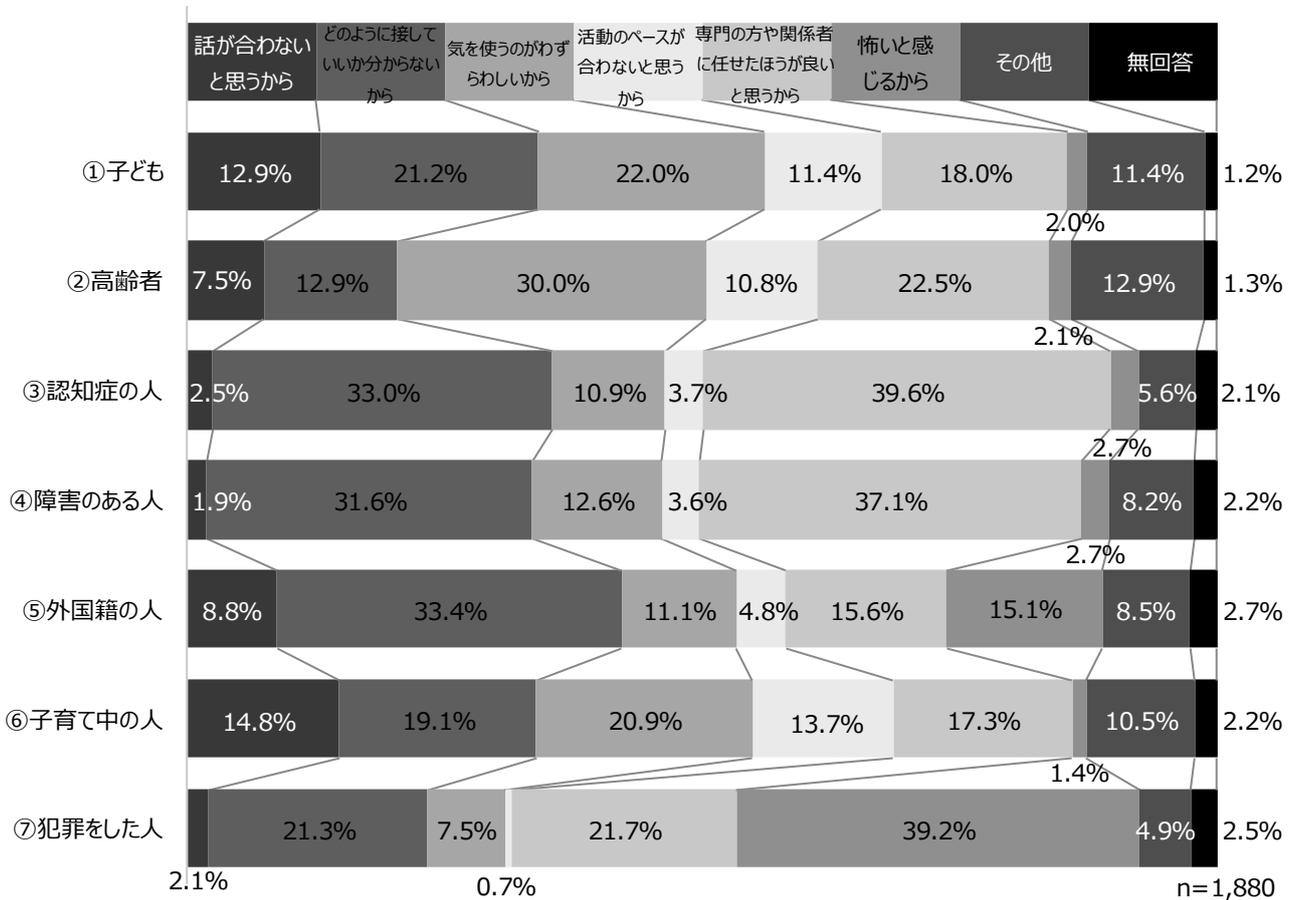
⑦犯罪をした人

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流してみたい	交流したいと思わない	分からない	無回答
全体		1,880	1.0	9.4	37.7	36.3	15.6
年代別	10歳代	20	0.0	15.0	50.0	25.0	10.0
	20歳代	93	1.1	20.4	46.2	29.0	3.2
	30歳代	156	1.3	13.5	56.4	23.1	5.8
	40歳代	209	2.9	14.4	46.4	35.9	0.5
	50歳代	249	2.0	11.6	37.3	41.0	8.0
	60歳代	390	0.8	10.3	36.9	40.5	11.5
	70歳代	456	0.2	6.1	33.1	39.9	20.6
	80歳以上	296	0.0	2.4	27.0	32.1	38.5

問(24)において1つでも「3.交流したいと思わない」の方のみに対する質問

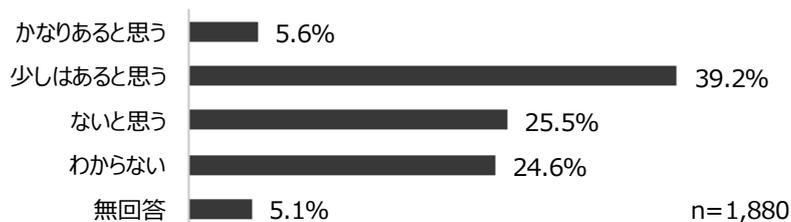
(25) 「3」を選んだ項目についてのみ、その理由を教えてください(○はそれぞれ1つ)

②高齢者については「気を使うのがわずらわしいから」という回答が最も多く、3割を占めています。③認知症の人、④障害のある人については、「専門の方や関係者に任せたいと思うから」という回答が最も多く、4割程度を占めています。



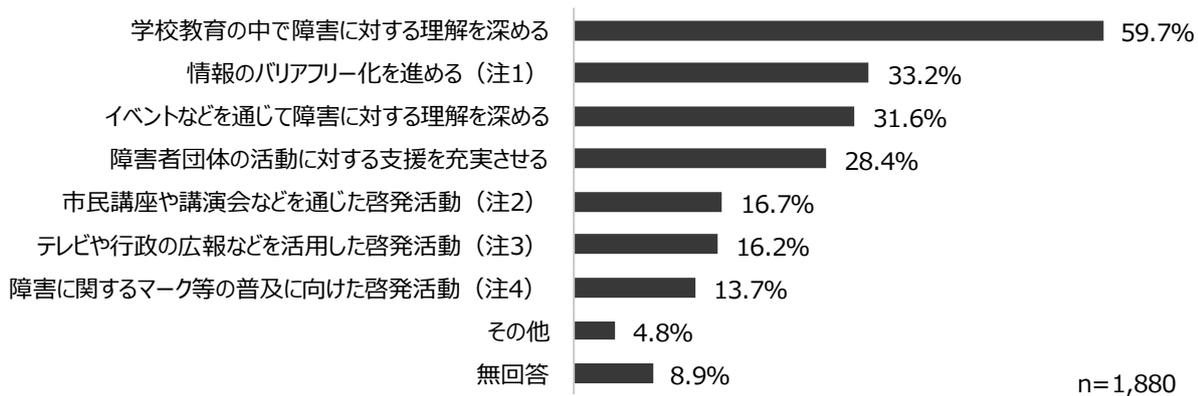
(26) あなたのまわりには、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか(単一回答)

「少しはあると思う」という回答が最も多く39.2%、次いで、「ないと思う(25.5%)」、「わからない(24.6%)」、「かなりあると思う(5.6%)」の順となっています。



(27) 障害のある人に対する差別や偏見をなくし理解を深めるために、今後、香取市としてどのような取り組みが必要だと思いますか(複数回答)

「学校教育の中で障害に対する理解を深める」という回答が最も多く 59.7%、次いで、「道路や公共施設、ウェブサイトなど情報のバリアフリー化を進める（33.2%）」、「イベントなどを通じて障害に対する理解を深める（31.6%）」、「障害者団体の活動に対する支援を充実させる（28.4%）」、「障害や福祉に関する市民講座や講演会などを通じた啓発活動を充実させる（16.7%）」、「テレビ・新聞や行政の広報・HP などを活用した啓発活動を充実させる（16.2%）」、「障害のある人等に関するマーク・標識の普及に向けた啓発活動を充実させる（13.7%）」の順で回答が多くなっています。



注 1 道路や公共施設、ウェブサイトなど情報のバリアフリー化を進める

注 2 障害や福祉に関する市民講座や講演会などを通じた啓発活動を充実させる

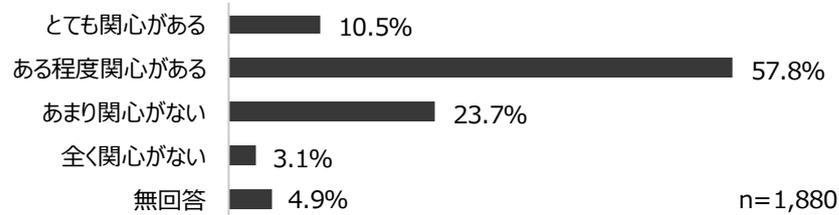
注 3 テレビ・新聞や行政の広報・HP などを活用した啓発活動を充実させる

注 4 障害のある人等に関するマーク・標識の普及に向けた啓発活動を充実させる

問5 福祉について

(28) あなたは「福祉」に関心をおもちですか(単一回答)

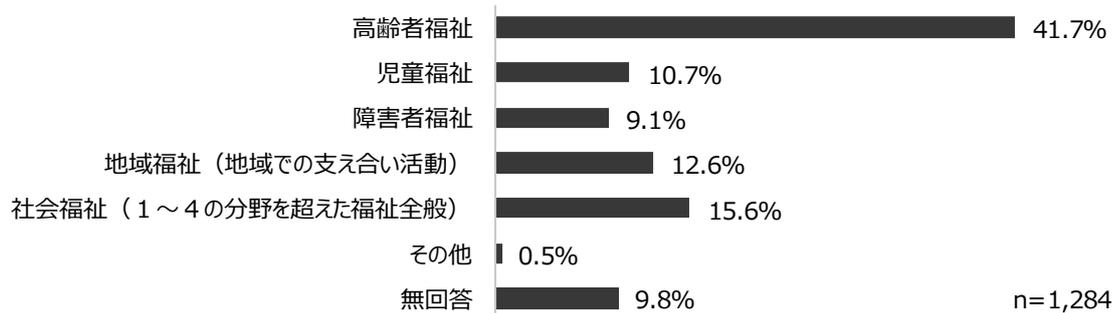
「ある程度関心がある」という回答が最も多く57.8%、次いで、「あまり関心がない(23.7%)」、「とても関心がある(10.5%)」、「全く関心がない(3.1%)」の順となっています。



問(28)において「1」、「2」(福祉に関心がある)と回答された方のみに対する質問

(29) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか(単一回答)

「高齢者福祉」という回答が最も多く41.7%、次いで、「社会福祉(1~4の分野を超えた福祉全般(15.6%))」、「地域福祉(地域での支え合い活動)(12.6%)」、「児童福祉(10.7%)」、「障害者福祉(9.1%)」の順となっています。



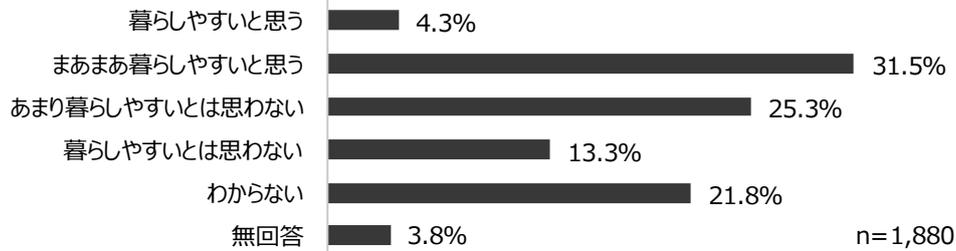
《年代別》

どの福祉の分野に関心があるかについて、回答を年代別にみると、10歳代と50歳以上で「高齢者福祉」と回答した人の割合が最も高くなっています。20歳代、30歳代では「児童福祉」と回答した人の割合が最も高くなっています。40歳代は「児童福祉」と同程度に「社会福祉」の割合も高くなっています。また、「障害者福祉」については、他の年代と比べて40歳代が最も高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	高齢者福祉	児童福祉	障害者福祉	地域福祉(地域活動)	社会福祉(全般)	その他	無回答	
全体	1,284	41.7	10.7	9.1	12.6	15.6	0.5	9.8	
年代別	10歳代	12	33.3	25.0	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3
	20歳代	59	11.9	32.2	8.5	15.3	18.6	0.0	13.6
	30歳代	93	21.5	34.4	6.5	6.5	16.1	0.0	15.1
	40歳代	128	18.0	22.7	16.4	10.2	21.1	1.6	10.2
	50歳代	157	40.1	9.6	7.6	12.1	19.1	0.6	10.8
	60歳代	264	41.3	6.1	9.8	15.9	17.4	0.8	8.7
	70歳代	351	51.0	6.0	9.1	14.5	11.7	0.0	7.7
	80歳以上	216	60.2	1.4	6.0	8.8	13.0	0.5	10.2

(30) 香取市は、子どもや子育てをする人、高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか(単一回答)

「まあまあ暮らしやすいと思う」という回答が最も多く 31.5%、次いで、「あまり暮らしやすいとは思わない (25.3%)」、「わからない (21.8%)」、「暮らしやすいとは思わない (13.3%)」、「暮らしやすいと思う (4.3%)」の順となっています。



《年代別・地区別》

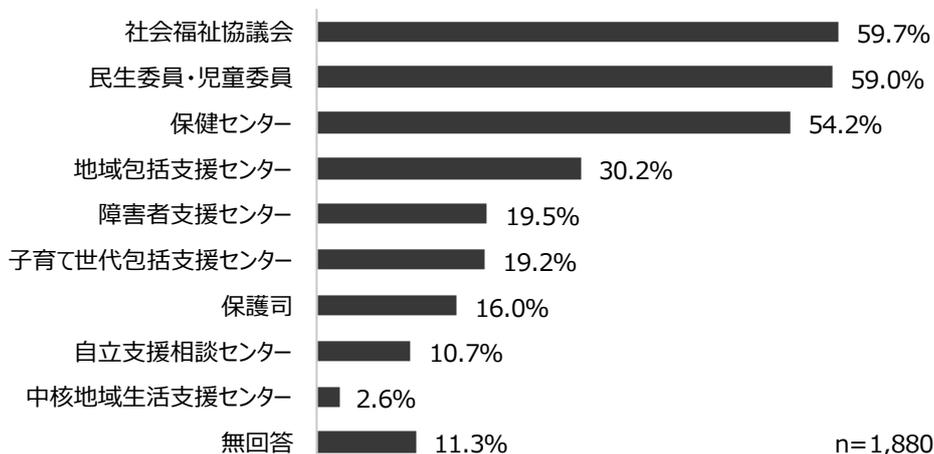
香取市が暮らしやすいまちだと思うかについて、回答を年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代、50歳代で「あまり暮らしやすいとは思わない」と回答した人の割合が最も高くなっています。40歳代では、「まあまあ暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいとは思わない」、「あまり暮らしやすいとは思わない」とする回答が同程度の割合を占めています。

また、回答を地区別にみると、山田地区、佐原地区、小見川地区では、「まあまあ暮らしやすいと思う」と回答した人の割合が最も高く、栗源地区では「あまり暮らしやすいとは思わない」という回答が最も高い割合を占めています。

単位 (%)		全体 (人)	暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない	無回答
全体		1,880	4.3	31.5	25.3	13.3	21.8	3.8
年代別	10歳代	20	0.0	25.0	35.0	15.0	20.0	5.0
	20歳代	93	4.3	32.3	35.5	8.6	16.1	3.2
	30歳代	156	3.2	23.1	29.5	26.9	16.7	0.6
	40歳代	209	0.5	26.8	25.4	25.8	20.1	1.4
	50歳代	249	1.6	22.1	28.9	20.1	24.1	3.2
	60歳代	390	2.6	32.6	28.2	10.8	23.3	2.6
	70歳代	456	4.8	37.3	23.2	6.6	23.9	4.2
	80歳以上	296	11.5	37.2	16.2	6.1	20.9	8.1
地区別	佐原地区	989	5.0	31.2	25.6	13.0	21.1	4.0
	小見川地区	536	3.4	30.2	24.3	12.3	27.2	2.6
	山田地区	258	3.9	37.2	24.8	15.5	14.3	4.3
	栗源地区	82	3.7	26.8	29.3	15.9	19.5	4.9

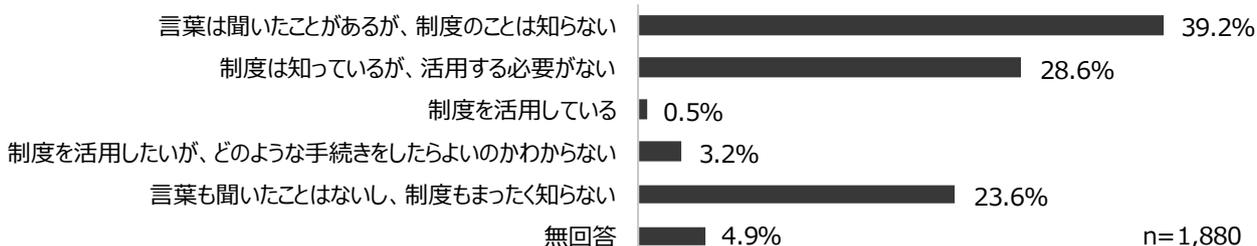
(31) あなたは、困りごとがあるときの相談窓口として、地域に次のような団体・機関があることを知っていますか(複数回答)

「社会福祉協議会（59.7%）」、「民生委員・児童委員（59.0%）」という回答が最も多く、次いで、「保健センター（54.2%）」、「地域包括支援センター（30.2%）」、「障害者支援センター（19.5%）」、「子育て世代包括支援センター（19.2%）」、「保護司（16.0%）」、「自立支援相談センター（10.7%）」の順で回答が多くなっています。



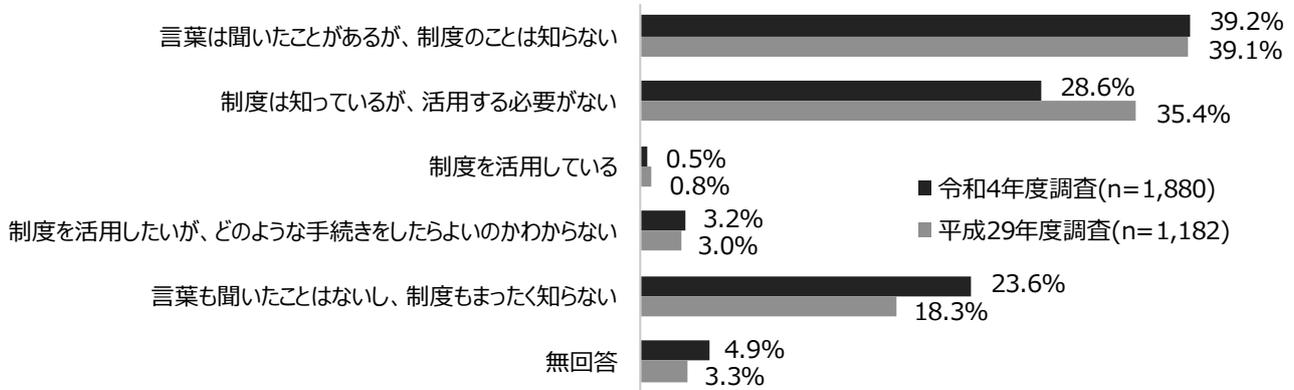
(32) 「成年後見制度」とは、本人が障害や認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度ですが、あなたはこの制度について知っていますか(単一回答)

「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」という回答が最も多く39.2%、次いで、「制度は知っているが、活用する必要がない（28.6%）」、「言葉も聞いたことはないし、制度も全く知らない（23.6%）」、「制度を活用したいが、どのような手続きをしたらよいのかわからない（3.2%）」、「制度を活用している（0.5%）」の順となっています。



前回調査との比較

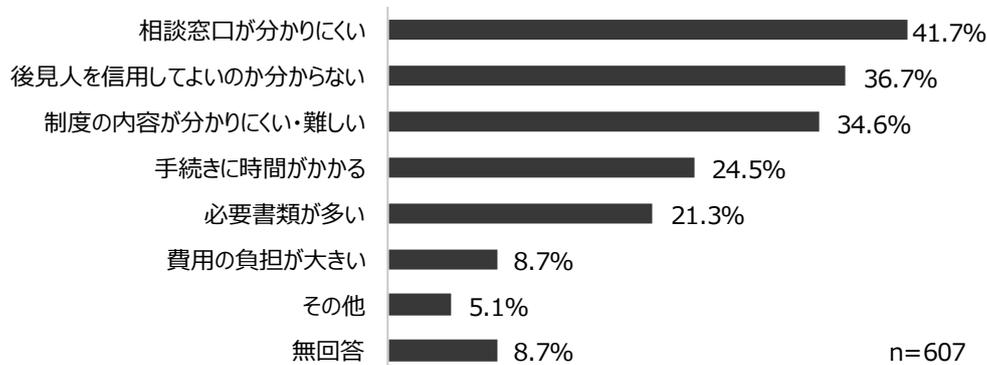
前回調査から回答の傾向に大きな変化はなく、「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」、「制度は知っているが、活用する必要がない」の順となっています。



問(32)において「2」、「3」、「4」（成年後見制度を「知っている」、「活用している」、「活用したい」と回答された方のみに対する質問

(33) 成年後見制度について、どのようなイメージをお持ちですか(複数回答)

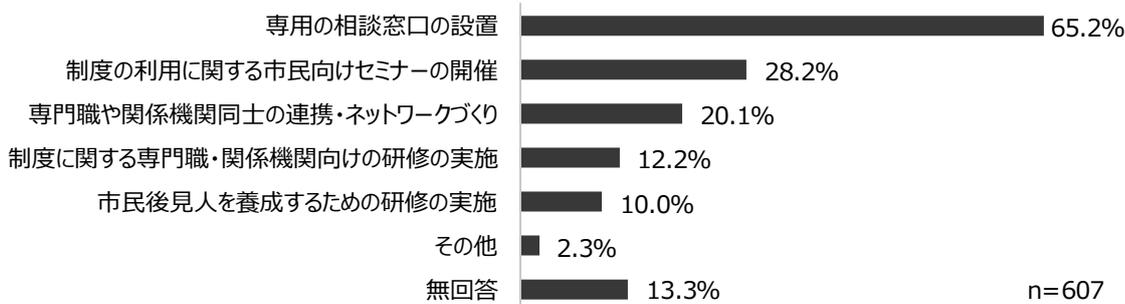
「相談窓口が分かりにくい」という回答が最も多く41.7%、次いで、「後見人を信用してよいか分からない（36.7%）」、「制度の内容が分かりにくい・難しい（34.6%）」、「手続きに時間がかかる（24.5%）」、「必要書類が多い（21.3%）」の順で回答が多くなっています。



問(32)において「2」、「3」、「4」（成年後見制度を「知っている」、「活用している」、「活用したい」）と回答された方のみに対する質問

(34) 制度を利用しやすくするために、香取市にどのようなことを求めますか(複数回答)

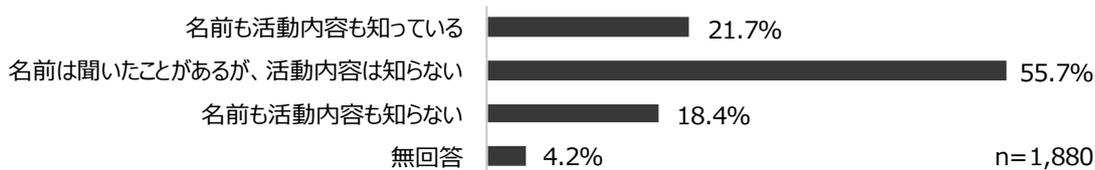
「専用相談窓口の設置」という回答が最も多く65.2%、次いで、「制度の利用に関する市民向けセミナーの開催（28.2%）」、「専門職や関係機関同士の連携・ネットワークづくり（20.1%）」、「制度に関する専門職・関係機関向けの研修の実施（12.2%）」、「市民後見人を養成するための研修の実施（10.0%）」の順で回答が多くなっています。



ここから全員

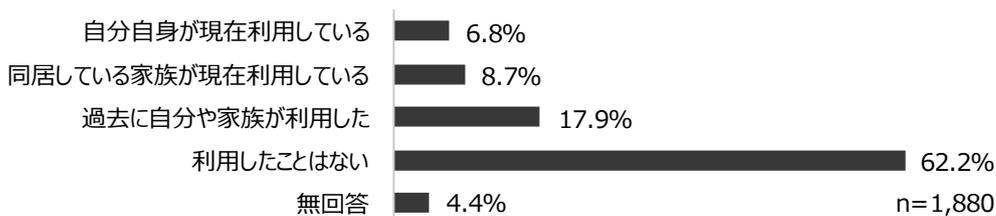
(35) あなたは、地域の福祉推進を図るために諸活動を行っている社会福祉協議会という組織を知っていますか(単一回答)

「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」という回答が最も多く55.7%、次いで、「名前も活動内容も知っている（21.7%）」、「名前も活動内容も知らない（18.4%）」の順となっています。



(36) あなたは、福祉サービス（介護保険サービスや障害福祉サービスなど）を利用していますか(単一回答)

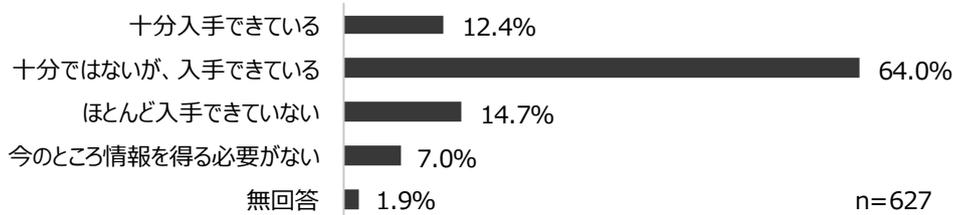
「利用したことはない」という回答が最も多く62.2%、次いで、「過去に自分や家族が利用した（17.9%）」、「同居している家族が現在利用している（8.7%）」、「自分自身が現在利用している（6.8%）」の順となっています。



問(36)において「1」、「2」、「3」（現在または過去に、自分自身または家族が利用したことがある）と回答された方のみに対する質問

(37) あなたは、自分や家族に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか(単一回答)

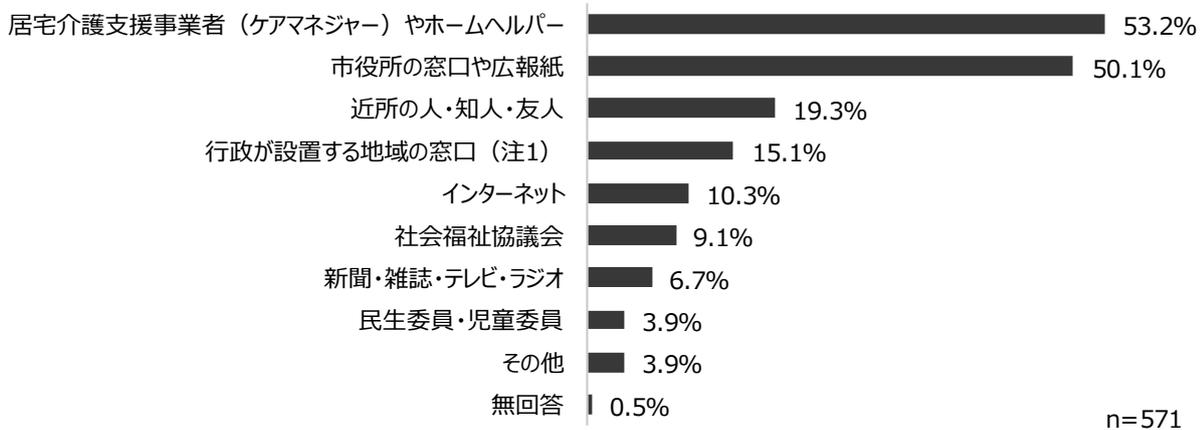
「十分ではないが、入手できている」という回答が最も多く64.0%、次いで、「ほとんど入手できていない（14.7%）」、「十分入手できている（12.4%）」、「今のところ情報を得る必要がない（7.0%）」の順となっています。



問(37)において「1」、「2」、「3」（情報を入手しようとしたことがある）の方のみに対する質問

(38) あなたは「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか(複数回答)

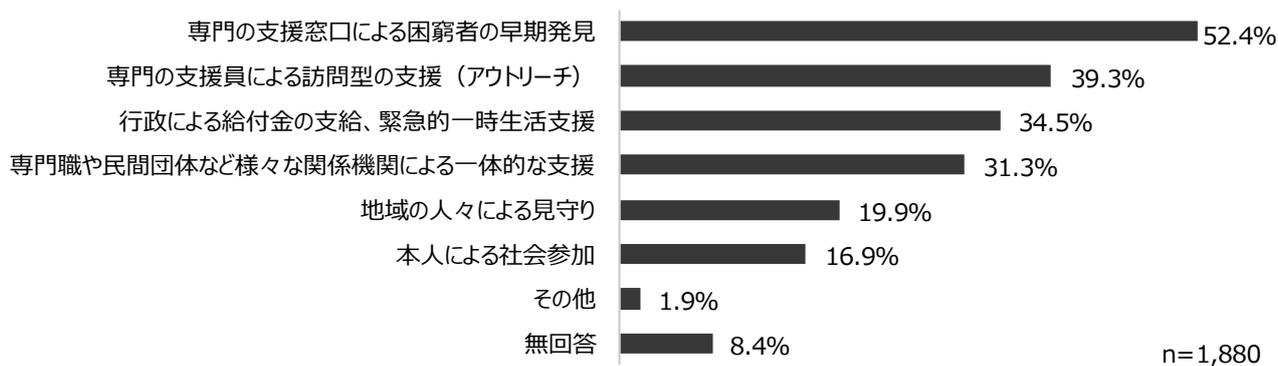
「居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）やホームヘルパー」という回答が最も多く53.2%、次いで、「市役所の窓口や広報紙（50.1%）」、「近所の人・知人・友人（19.3%）」、「地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口（15.1%）」、「インターネット（10.3%）」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答には、「医療機関や医療従事者」、「家族」、「福祉施設」などの回答が挙げられています。



注1 地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口

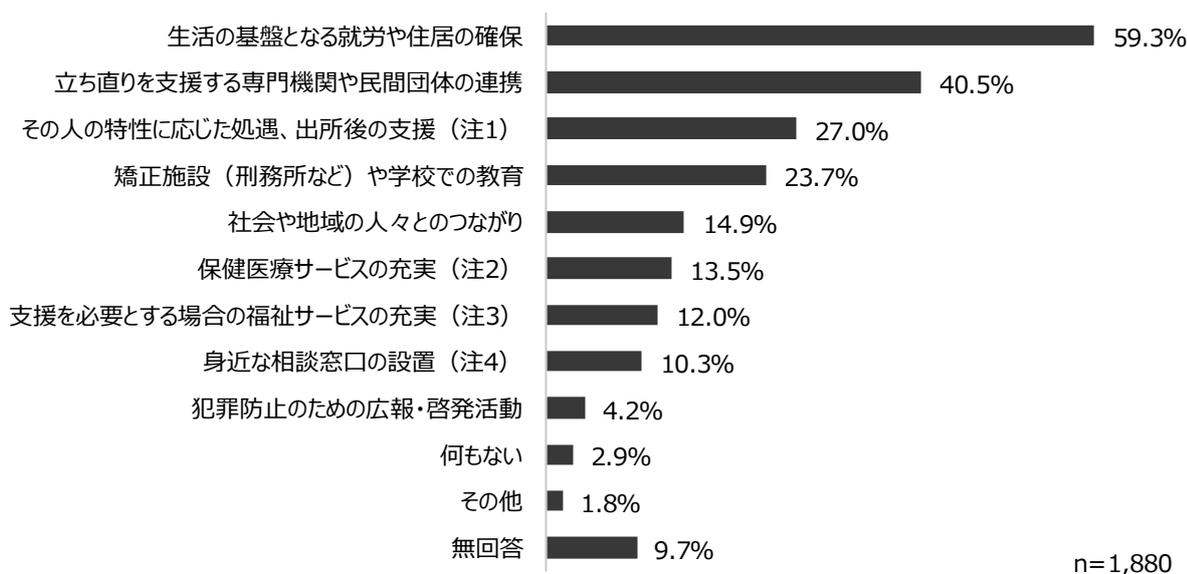
(39) あなたは、生活困窮者や社会的に孤立している人への支援のあり方について、どのようなことが重要だと思いますか
(3つまで)

「専門の支援窓口による困窮者の早期発見」という回答が最も多く52.4%、次いで、「専門の支援員による訪問型の支援（アウトリーチ）（39.3%）」、「行政による給付金の支給、緊急的一時生活支援（34.5%）」、「専門職や民間団体などさまざまな関係機関による一体的な支援（31.3%）」、「地域の人々による見守り（19.9%）」、「本人による社会参加（16.9%）」の順で回答が多くなっています。



(40) あなたは、犯罪をした人等が再び罪を犯さないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか(3つまで)

「生活の基盤となる就労や住居の確保」という回答が最も多く59.3%、次いで、「立ち直りを支援する専門機関や民間団体の連携(40.5%)」、「少年や女性、障害のある人など、その人の特性に応じた処遇、出所後の支援(27.0%)」、「矯正施設(刑務所など)や学校での教育(23.7%)」、「社会や地域の人々とのつながり(14.9%)」、「薬物等の依存症の治療などに係る保健医療サービスの充実(13.5%)」、「高齢や障害等により支援を必要とする場合の福祉サービスの充実(12.0%)」、「電話やメール、LINE などによる身近な相談窓口の設置(10.3%)」の順で回答が多くなっています。



注1 少年や女性、障害のある人など、その人の特性に応じた処遇、出所後の支援

注2 薬物等の依存症の治療などに係る保健医療サービスの充実

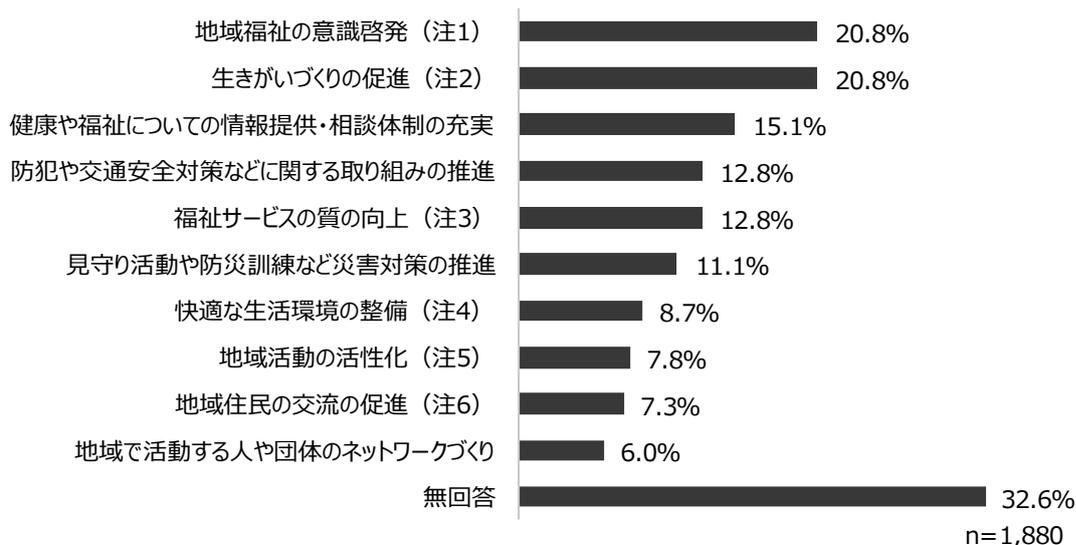
注3 高齢や障害等により支援を必要とする場合の福祉サービスの充実

注4 電話やメール、LINE などによる身近な相談窓口の設置

問6 地域福祉のあり方について

(41) 香取市の保健福祉施策について、充実していると感じる取り組みはどれですか(3つまで)

「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識啓発」、「介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいの促進」という回答が最も多く20.8%、次いで、「健康や福祉についての情報提供・相談体制の充実（15.1%）」、「防犯や交通安全対策などに関する取り組みの推進（12.8%）」、「子ども、障害のある人、高齢者など支援を必要とする人への福祉サービスの質の向上（12.8%）」、「見守り活動や防災訓練など災害対策の推進（11.1%）」の順で回答が多くなっています。



注1 地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識啓発

注2 介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいの促進

注3 子ども、障害のある人、高齢者など支援を必要とする人への福祉サービスの質の向上

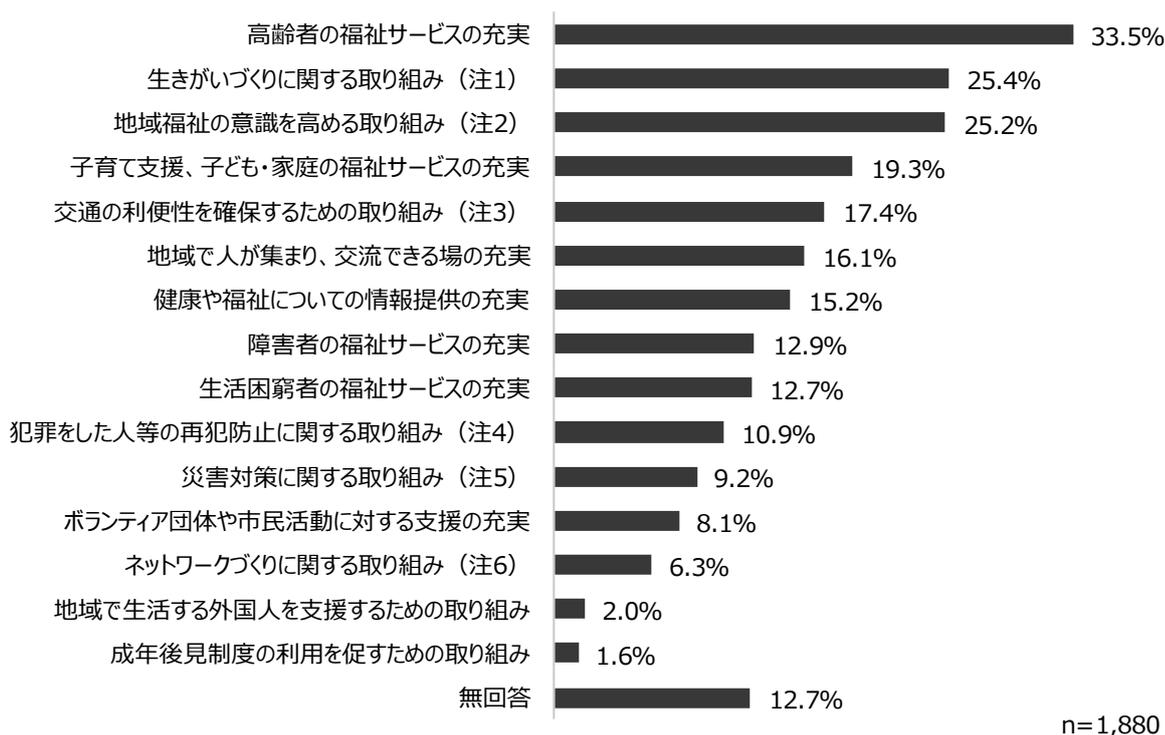
注4 道路や施設のバリアフリー化、交通の利便性の確保など快適な生活環境の整備

注5 ボランティア団体や市民活動に対する支援等を通じた地域活動の活性化

注6 身近なサロンやイベントの開催などによる地域住民の交流の促進

(42) 香取市の保健福祉施策を今後、より充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか(3つまで)

「高齢者福祉サービスの充実」という回答が最も多く33.5%、次いで、「介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいづくりに関する取り組み(25.4%)」、「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み(25.2%)」、「子育て支援、子ども・家庭の福祉サービスの充実(19.3%)」、「道路や施設のバリアフリー化、交通の利便性を確保するための取り組み(17.4%)」、「地域で人が集まり、交流できる場の充実(16.1%)」、「健康や福祉についての情報提供の充実(15.2%)」、「障害者の福祉サービスの充実(12.9%)」、「生活困窮者の福祉サービスの充実(12.7%)」、「防犯パトロールや交通安全、犯罪をした人等の再犯防止に関する取り組み(10.9%)」の順で回答が多くなっています。



注1 介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいづくりに関する取り組み

注2 地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み

注3 道路や施設のバリアフリー化、交通の利便性を確保するための取り組み

注4 防犯パトロールや交通安全、犯罪をした人等の再犯防止に関する取り組み

注5 見守り活動や防災訓練など災害対策に関する取り組み

注6 地域で活動する人や団体のネットワークづくりに関する取り組み

《年代別》

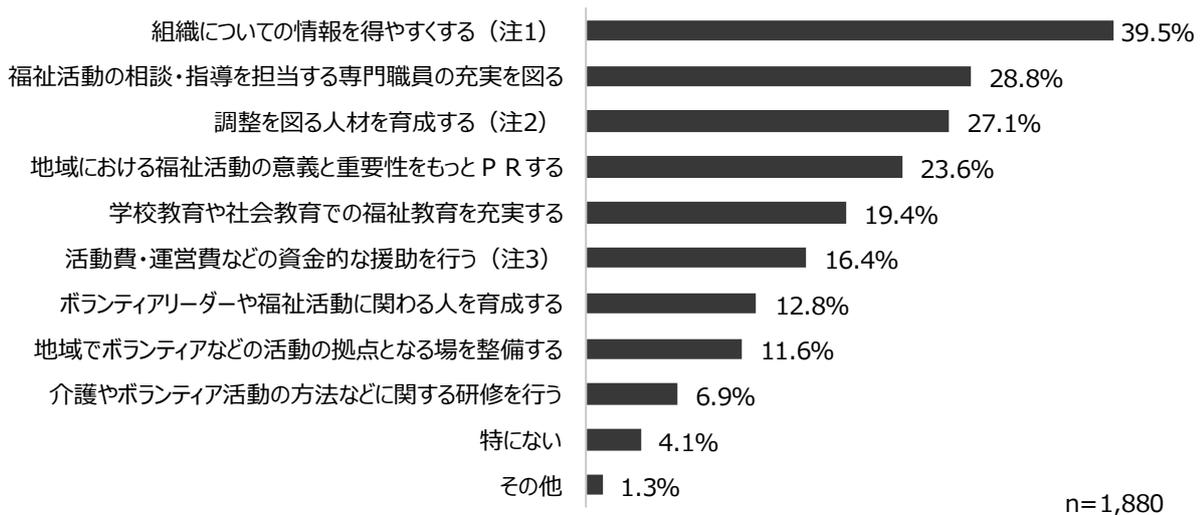
回答を年代別にみると、20歳代と30歳代では、「子育て支援、子ども・家庭の福祉サービスの充実」という回答が最も多く、次いで、「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み」が多くなっています。40歳代では、「子育て支援、子ども・家庭の福祉サービスの充実」と「高齢者の福祉サービスの充実」という回答が同程度に多くなっています。50歳以上では、「高齢者の福祉サービスの充実」という回答が最も多く、次いで、「介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいづくりに関する取り組み」や「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み」が多くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	の意識を高める取り組み	地域や学校での声かけ運動や福祉教育など	くりや関する声かけ運動	味や仕事などの声かけ運動	介護予防や健康づくり、趣味	きる場の人が集まり、交流で	地域での充実	動に對する支援の充実	ボランティアの団体や市民活動	る取り組	地域での活動する人や団体の関係	健康や福祉についての情報	災害対策に動する防災訓練など	防犯に關するしりや交通再犯
全体	1,880	25.2	25.4	16.1	8.1	6.3	15.2	9.2	10.9						
年代別	10歳代	20	25.0	25.0	20.0	5.0	5.0	10.0	25.0						
	20歳代	93	24.7	21.5	8.6	5.4	4.3	9.7	11.8						
	30歳代	156	32.7	21.8	19.9	6.4	5.8	18.6	5.1						
	40歳代	209	24.4	20.1	12.0	9.6	9.1	17.2	10.0						
	50歳代	249	24.1	24.9	13.7	7.2	5.2	12.9	7.2						
	60歳代	390	25.9	27.9	13.1	9.7	8.2	17.4	9.5						
	70歳代	456	25.2	30.0	20.4	9.2	7.0	16.9	10.1						
	80歳以上	296	23.0	22.6	18.6	6.1	3.0	11.1	10.1						

単位 (%)	実障害者の福祉サービスの充実	るた、め、の取組	道、路、の利便性を確保す	実高齢者の福祉サービスの充実	の子育て支援、子どもの充実・家庭	の生活困窮者の福祉サービスの充実	援地、域での生活する外国人を支援	た成年後の見取り組の利用を促す	無回答
全体	12.9	17.4	33.5	19.3	12.7	2.0	1.6	12.7	
年代別	10歳代	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	0.0	15.0	
	20歳代	14.0	18.3	18.3	46.2	15.1	9.7	3.2	
	30歳代	8.3	23.7	19.9	48.7	7.1	3.8	3.8	
	40歳代	19.1	19.1	28.7	29.7	15.3	2.4	6.7	
	50歳代	16.9	21.7	36.5	16.9	13.3	1.6	9.6	
	60歳代	11.0	16.7	32.6	16.4	12.3	1.8	14.1	
	70歳代	12.3	15.8	35.5	11.2	12.5	1.3	14.5	
	80歳以上	10.5	13.2	45.3	6.1	12.8	0.0	21.6	

(43) 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか(3つまで)

「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」という回答が最も多く39.5%、次いで、「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る(28.8%)」、「困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する(27.1%)」、「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする(23.6%)」、「学校教育や社会教育での福祉教育を充実する(19.4%)」、「地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う(16.4%)」、「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する(12.8%)」、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する(11.6%)」の順で回答が多くなっています。



注1 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする

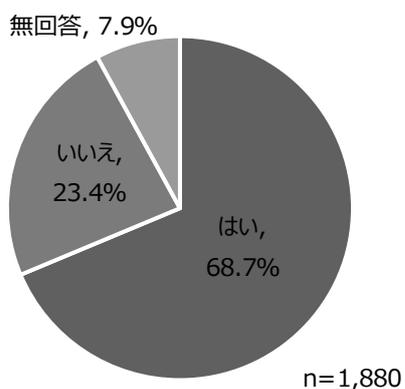
注2 困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する

注3 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う

問7 災害対策について

(44) 地震や洪水など何らかの災害が発生したときのご自身の避難場所を把握していますか(単一回答)

「はい」という回答が最も多く68.7%、次いで、「いいえ（23.4%）」の順となっています。



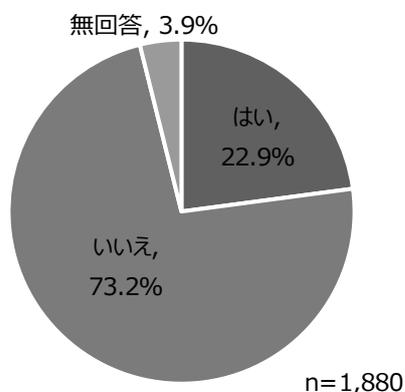
≪地区別≫

災害発生時の避難場所を把握しているかどうかについて、地区別にみると、他の地区と比べて栗源地区では、避難場所を把握している人の割合が低くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,880	68.7	23.4	7.9
地区別	佐原地区	989	68.9	23.6	7.6
	小見川地区	536	70.1	22.2	7.6
	山田地区	258	68.2	23.6	8.1
	栗源地区	82	58.5	28.0	13.4

(45) ご自身やご家族の中に、災害時の避難行動に支援が必要な方はいますか（一人で歩けないなど）（単一回答）

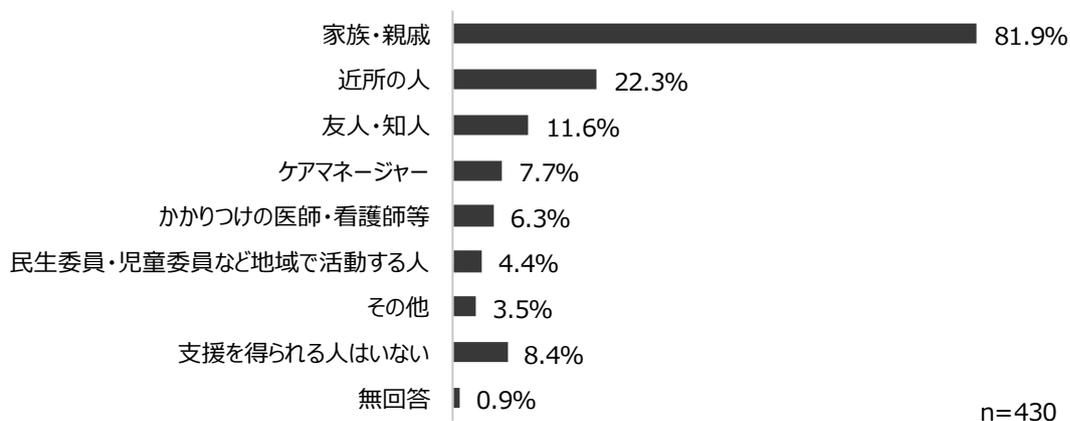
「いいえ」という回答が最も多く73.2%、次いで「はい（22.9%）」の順となっています。



問(45)において「1.はい」と回答された方のみに対する質問

(46) 避難する際にどなたから支援を得られる状況にありますか（3つまで）

「家族・親戚」という回答が最も多く81.9%、次いで、「近所の人（22.3%）」、「友人・知人（11.6%）」の順で回答が多くなっています。



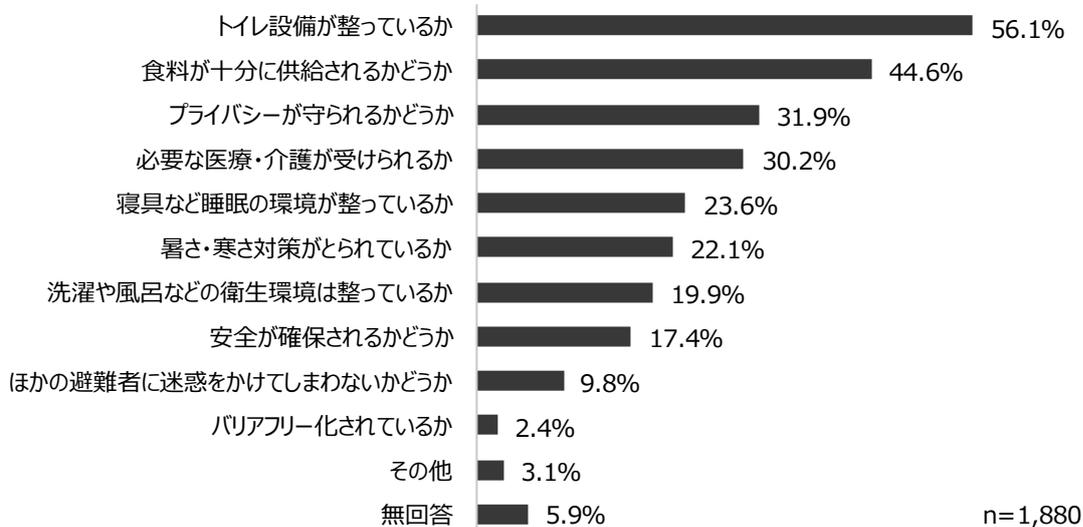
《地区別》

避難する際に支援を得られる相手について、地区別の傾向も全体と同様ですが、「友人・知人」と回答した人の割合は、栗源地区、山田地区で高く、佐原地区、小見川地区では低くなっています。「近所の人」と回答した人の割合は、山田地区、栗源地区で高く、佐原地区、小見川地区では低くなっています。「ケアマネージャー」と回答した人の割合は、他の地区と比べて栗源地区で高くなっています。「支援を得られる人はいない」と回答した人の割合は、他の地区と比べて佐原地区で高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	家族・親戚	友人・知人	近所の人	民生委員・地域・児童活動委員	ケアマネージャー	かかりつけの医師等	その他	はいない人	無回答	
全体	430	81.9	11.6	22.3	4.4	7.7	6.3	3.5	8.4	0.9	
地区別	佐原地区	225	79.6	8.0	21.3	4.4	7.6	7.6	4.9	10.2	0.4
	小見川地区	128	81.3	14.1	21.9	4.7	6.3	3.9	1.6	7.8	1.6
	山田地区	60	91.7	18.3	26.7	5.0	8.3	8.3	1.7	3.3	0.0
	栗源地区	15	86.7	20.0	26.7	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7

(47) ご自身やご家族の避難所での生活について、どのようなことに心配・不安を感じますか(3つまで)

「トイレ設備が整っているか」という回答が最も多く56.1%、次いで、「食料が十分に供給されるかどうか(44.6%)」、「プライバシーが守られるかどうか(31.9%)」、「必要な医療・介護が受けられるか(30.2%)」、「寝具など睡眠の環境が整っているか(23.6%)」、「暑さ・寒さ対策がとられているか(22.1%)」、「洗濯や風呂などの衛生環境は整っているか(19.9%)」、「安全が確保されるかどうか(17.4%)」の順で回答が多くなっています。「その他」として、「ペットを連れて行けるかどうか」という回答が最も多く挙がっています。そのほか、「選択肢すべて」、「自身または家族に障害があるため避難所に行くことが難しい」、「避難所が狭い」という回答が挙げられています。



《性別》

避難所での生活に対する心配・不安について、回答を男女別にみると、男性では、「食料が十分に供給されるかどうか」、「寝具など睡眠の環境が整っているか」などの割合が女性に比べて高くなっています。また、女性では、「トイレ設備が整っているか」、「プライバシーが守られるかどうか」、「安全が確保されるかどうか」などの回答の割合が男性に比べて高くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	食料が十分に供給されるかどうか	トイレ設備が整っているか	寝具など睡眠の環境が整っているか	衛生環境は整っているか	洗濯や風呂などの環境が整っているか	必要な医療・介護が受けられるか	プライバシーが守られるかどうか	暑さ・寒さ対策がとられているか
全体		1,880	44.6	56.1	23.6	19.9	30.2	31.9	22.1	
性別	男性	813	49.8	51.2	26.6	20.4	30.3	27.2	23.1	
	女性	1048	40.7	60.0	21.5	19.8	30.0	35.4	21.4	

単位 (%)		プライバシー化されているか	安全が確保されるかどうか	惑い・不安・混乱が解消されているか	その他	無回答
全体		2.4	17.4	9.8	3.1	5.9
性別	男性	2.2	14.1	10.3	3.0	6.3
	女性	2.4	19.9	9.3	3.2	5.6

問8 その他

(48) 最後に、地域福祉についてご意見・ご要望などがあればご自由にお書きください

高齢者の保健福祉、介護に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 廃用症候群や転倒予防のための体操教室、レクリエーションの場など、高齢者が気軽に参加できる機会を設けてほしい。■ 高齢者は社会とのつながりがなくなり孤立しがちのため、安心して楽しく集い、活動できる場を設けてほしい。■ 通院や買い物など日常生活の支援として、介護タクシー券を配布してほしい。■ 緊急の介護入所施設があるとよい。■ バリアフリーのスーパーマーケットや病院が少ない。■ 今後はより介護予防事業に予算を配分してほしい。高齢者が元気づちに活動に参加できるようにし、健康寿命を延ばしていくこと、元気な高齢者を増やすことが大切。■ 高齢者の入所施設が少なく、入所待ちが発生している。行政が施設への補助金など支援し、施設が増えるようにしてほしい。■ 高齢者のオムツ購入補助について、支給されるものは使いづらく、本人の使いやすさを考慮したものを支給してほしい。または、市販品購入時に補助を受けられるようにしてほしい。■ 支援を必要としている人の中には孤立している人もいる。一人暮らし高齢者等については積極的な訪問活動が必要だと思う。
障害者の福祉に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 障害のある人が働ける場所が増えるとよい。働ける場所が近くにあれば、障害者本人も生きがいを感じられ、家族も自分の時間ができて働くことができたり、リフレッシュする時間を持てたりして心の健康が得られると思う。■ 視覚障害者のためのバリアフリーを進めてほしい。公共施設や観光地でのビデオ上映に字幕をつけてほしい。■ 障害者の福祉について、子育て相談と同じように気軽に相談できる場所の整備や情報発信をお願いしたい。■ 障害者の福祉を充実させてほしい。■ 障害（グレーゾーンも含めて）について、周囲からの理解が乏しい。利用できるサービスもあまりなく、金銭面の負担も大きい。障害者が安心して生活できる場をもっと考えてほしい。
子どもの福祉、子育てに関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 子どもが遊べる大きな公園や、室内の遊び場を作してほしい。香取市内になく、市外に出なければならぬ状況。■ 香取市各地区に子ども食堂を設立してほしい。地域の方々と関わり、子ども同士親同士の交流を持つという観点から、子ども食堂があるとよい。■ 香取市は、子育てや介護をしながら生活するのがすごく難しい。保育所や学童の終了時間をもう少し遅くして、働きながら育てられる環境をつくってほしい。■ 時間外保育の補助等、市でしていただくことで保育士さんの対応の方法も変えていただけるのではないかな。■ オムツ代、3歳以下3人目の保育料、出産祝い金、給食費無料など、近隣地域と比べて香取市は子育て支援が少ない。子育て世代の経済的負担がもう少し減るとよい。■ 安心して子どもを産み育てられる香取市にしてほしい。■ 小学校区の児童の減少で学校教育がきちんと成立するのか不安。■ 子どもたちの老人ホームなどへの訪問、交流を授業の中に取り入れてはどうか。核家族世帯が多く、親以外の世代とのふれあいがなく、理解できないことがある。■ 地区では子どもの数が少なくなり「子ども会」が解散してしまった。複数の地区での「合同子ども会」を結成するなどして、地域の子どもやその親たちの交流ができるようにしてほしい。■ 子どもたちのスポーツ活動への支援（施設、資金等）を増やしてほしい。■ 少子化がどんどん進んでいる。近隣地域に引越す方も多く、香取市に住んでいたいと思わせる子育て支援やショッピングモールの誘致をぜひお願いしたい。

医療、健康づくりに関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣に子どもが入院できる病院がなく、夜間救急もない。 ■ 子どもの医療に関して、日曜日に受診できる医療機関が少なすぎる。 ■ 市役所前に建設予定になっていた産婦人科を早く建ててほしい。 ■ 耳鼻科が一カ所しかなく混んでいるため、耳鼻科を開業してほしい。 ■ 発熱外来の病院を増やしてほしい。 ■ 同じ医療費であっても、大都市と地方では全く違う。地方の人たちも大都市の人たちと同じ恩恵を受けたい。 ■ 医療の充実を一番にお願いしたい。この病院があるから香取市在住はまず安心、となると、住み心地がぐっと良くなる。
地域福祉全般に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域福祉の現状とその課題、それに対する取り組みについて、小学校高学年あたりから教育してほしい。自分たちが住む地域を真剣に考える良い機会になると思う。 ■ 空き家が増えて人の気配が少ないのが怖い。 ■ 働く場所がなく、若い人の流出につながっている。 ■ うつ病、引きこもり等の支援。 ■ 移動手段がないため高齢になっても免許返納せず買い物や通院のため車を使っている人が多い。移動スーパー等の支援があると助かる人が多いと思う。
災害対策に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 台風のと看、どこの避難所も満員でケーヨーや諏訪山に逃げた。十分な避難所の確保をお願いしたい。 ■ 災害時に避難する場合、避難所まで行く手段がない。避難先の環境や待遇も必要なことだが、まず安全に避難場所に到着することが必要と考える。 ■ 町内会に入っていないため、地域の情報収集ができていない。災害時の避難先も分からない。 ■ 災害が起こった時の避難が特に心配。近所の方たちも高齢化しており、助け合うにも限界を感じる。消防署の職員の方たちが支援に回ってきていただけるとありがたい。 ■ 避難場所まで移動できない場合、タクシー会社などに委託して地域を回って送っていただきたい。 ■ 避難場所ではトイレが離れていると歩けずに困る。携帯トイレなどを使う場合、プライバシーを守るため困いをしてもらいたい。 ■ 最近ではペットを飼っている家庭がほとんどだと思う。災害時にペットを同伴できる避難場所を増やすべきだと思う。同伴できない場合には、ペットを連れて車で避難する家族も増えている。駐車できる場所を作るのも必要だと思う。 ■ 民生委員、自治会、消防団や自警団の災害時の各自の役割や連携について横断的な整備をしてほしい。 ■ 防災公園のような、災害時にも役立ち、日常でも子供が遊んだり地域の方が交流できる広い芝生などのスペースがほしい。
交通の利便性に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通の便が悪く、高齢になっても車を運転せざるを得ない地域が多い。コミュニティバスの土日運行、便数を増やすなどしてほしい。 ■ 高齢者の病院の送迎があるとよい。 ■ みずほ台から下総神崎までの交通手段（バス）がない。 ■ 下総神崎駅など、車椅子ユーザーのためのエレベーターがない。 ■ 免許返納後に、通院や買い物などのための交通手段があるか心配。 ■ 地域の高齢化が進む中、買い物、通院等で利用できる公共交通機関の充実（費用補助含む）が必須。スクールバスの生徒、高齢者の相互利用を可能にしてはどうか。
安全・再犯防止に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 通学路の安全化を強く求めます。 ■ 子どもが安全に登下校できるように、通学路の整備を進めてほしい。 ■ パトロールをお願いしたい。 ■ 夜の街が暗すぎる。事故や犯罪が起きないか心配。防犯対策として街灯を増やしてほしい。 ■ 駅前でも街灯の数が少ない。ブルーの街灯は暗くて人がいるのかも分かりづらく危ないと感じる。白色灯に変えていただきたい。

- 道の舗装がきちんと整備されておらず、段差やガタツキがある道が多い。何年も直されていないので危ない箇所が増えていると感じる。
- 犯罪抑止、交通マナー向上のために、防犯カメラの設置を希望します。

外国人支援に関すること

- 外国人にとって地域福祉にどんな内容があるか具体的に分からないため、よく分かるようお知らせいただければ良いと思います。

本アンケート調査に関すること

- アンケートのフォントが「UD フォント」でとても見やすかった。どんどん使ってほしい。
- 質問の順番が分かりづらい。1～2 はタテにしてほしい。
- 本人が高齢のためアンケートが来ても答えられない。もう少し回答者を選んでほしい。
- 設問が多すぎる。非常に疲れた。
- 質問 41 について、選択肢に「特になし」がないのはおかしいと思う。
- QR コードを読み込んだ後、4 桁の数字を入力してもエラーとなってしまった。それにより回答できない人もいると思うので、アンケート環境を整えないもったいない。
- 無作為抽出アンケートとなっているが、インターネット回答番号で個人が特定できてしまう。提出に少々不安を感じる。
- アンケートを通じて、深く考えていなかったこと、地域福祉の範囲など、知らなかったことも自覚できた。